

イモ欽『ワルオ』が帰って来た
音楽と笑いのステージ提供

西山浩司ワルオバンド

NISHIYAMA KOJI WARUO BAND

◆イモ欽トリオ『ワルオ』が時を経て復活！
音楽と笑いを融合させた
「西山浩司ワルオバンド」を結成！！



【音楽の合間のコントは 『欽ちゃんの笑い』を継承】

単独ライブの見所は、音楽に絶妙なタイミングで入ってくる「コント」部分。欽ちゃんファミリーの佐藤あつし氏が舞台上に登場すると、西山浩司氏との笑いのかけあいが自然な形で始まり、観客は、音楽の余韻そのままに、コントに引き込まれていく。音楽だけでなく、笑いと融合させた構成で、どこか懐かしい昭和の香りを感じるステージが人気の秘密。



1981年からフジテレビで放映されていたバラエティ番組「欽ドン! 良い子悪い子普通の子」の『ワルオ』役としてブレイクした西山浩司氏がリーダーとなり、2012年5月に「西山浩司ワルオバンド」を結成。31年前に使用していたという「リーゼントのカツラ」を着用し、「イモ欽トリオ」で160万枚を売り上げた大ヒット曲『ハイスクールララバイ』などを歌うその姿に、『昭和時代の“ワルオ”が帰って来た!』と注目を浴びている。ギターKoichi、ベースNORRY、ドラムRIHIT、コーラスRUMIの音楽メンバーに加え、お笑い担当として欽ちゃんファミリーの佐藤あつし氏を迎え、音楽あり、コントあり、「笑いと音楽の融合」をテーマに、ステージを構成。単独ライブやイベント出演等を行っている。

【時を経てワルオ復活！キッカケはfacebook！】

「西山浩司ワルオバンド」の『ワルオ』のトレードマークは、「イモ欽トリオ」の“ワルオ”時代のリーゼントのカツラ。今回着用しているものは…、なんと31年前に使用していたもの。西山氏は、一時の思いとして、「僕はワルオとして見られることが嫌で嫌でたまらなかった。『早くワルオを卒業したい』『ワルオは過去だ』。カラオケで『ハイスクールララバイ』をリクエストされても、僕は店をそっと出ていました。

それくらいイヤだったのです。」と語っている。ところが40歳の時に、その思いが変わったキッカケがfacebook。様々な人からアクセスがあり、自分で考えていた以上にイモ欽トリオやワルオに対する根強いファンがいることがわかり、一念発起。バンドを結成した。「テレビ局の床山さんにも、当時の特注のリーゼントのカツラが美しいまま保存されていました。ライブの衣装は学ランではありません(笑)。」西山氏は、31年かけて進化した“ワルオ”を舞台上でどう演出するかを楽しんでいる。



【WORKS】

・イベント出演 ・音楽イベント審査員 etc.

取材・仕事のご依頼は、ホワイトナイト(株)文化人プロダクション部 久保 TEL 03-5414-2831